

志村小・志村四中 小中一貫型学校設置検討会 第9回検討会の開催状況について

1 第9回検討会の開催状況

(1) 検討会の内容・議事要旨

令和4年7月26日（火）午後6時15分より、グリーンカレッジホールにて第9回検討会を開催した。

《議題》

1 会長あいさつ

2 検討事項

(1) 第5回通学区域・通学路作業部会の報告について

第5回の通学区域・通学路作業部会の報告及び志村第四中学校の通学区域変更検討区域の内容について説明し、検討を行った。

検討の結果、変更検討区域の町会等への状況説明等を行い、引き続き検討を行うことを決定した。

※別紙1：検討会資料2「第5回 通学区域・通学路作業部会の報告について」

(2) 第4回学校名・校歌・校章作業部会の報告について

第4回の学校名・校歌・校章作業部会の報告及び小中一貫型学校の名称案の作成段階ステップ2（名称案の作成）について、意見交換を行った。

検討の結果、ステップ3で実施するアンケートに記載する名称案を決定した。

【名称案】

①志村みらい学園、②志村城山学園、③志村城址学園、④志村中央学園

※「志村クローバー学園」、「志村城山小中一貫校」については、表記の工夫や名称案の可否も含め、作業部会において再検討を行うこととなった。

※別紙2：検討会資料3「第4回 学校名・校歌・校章作業部会の報告について」

3 連絡事項

(1) 基本構想・基本計画の策定について

志村小学校・志村第四中学校の小中一貫型学校の改築に向け作成した「基本構想・基本計画」の策定について説明を行った。

※別紙3：検討会資料5「基本構想・基本計画 報告書【概要版】」

(2) 改築だより3号について

「志村小学校・志村第四中学校の一貫型学校改築だより（第3号）」では、「基本構想・基本計画」策定までの活動経過について記載し、7月下旬に配付することを周知した。

※別紙4：検討会資料8「改築だより（第3号）」

2 これまでの検討会開催経過

回	開催月日	内容
第1回	令和3年2月4日	<ul style="list-style-type: none"> ●会の委員、会則、運営について、会長の選出 ●協議会意見書の内容確認 ●検討会の検討スケジュール ●跡地活用に関する報告事項
第2回	令和3年4月27日	<ul style="list-style-type: none"> ●検討会と作業部会の運営について ●説明会及び意見募集の概要と意見・質問について ※緊急事態宣言再発令に伴い、書面開催とした。
第3回	令和3年7月29日	<ul style="list-style-type: none"> ●第2回検討会（書面開催）の報告 ●第1回・第2回 通学区域・通学路作業部会の報告 ※通学区域変更案について、変更に関係する学校の学校長及びPTA代表者を交えて検討行うことが決定。 ●跡地活用に関する報告
第4回	令和3年10月8日	<ul style="list-style-type: none"> ●基本構想・基本計画の策定について ●第3回通学区域・通学路作業部会の報告について ●学校の伝統・歴史の保存について
第5回	令和3年12月13日	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回学校名・校歌・校章作業部会の報告について ●第4回通学区域・通学路作業部会の報告について ●学校の伝統・歴史の保存について ●基本構想・基本計画の策定に伴う意見聴取について
第6回	令和4年2月21日	<ul style="list-style-type: none"> ●第2回学校名・校歌・校章作業部会の報告について ●志村小学校の跡地活用に関する報告事項 ●改築だより（第1号）について
第7回	令和4年4月26日	<ul style="list-style-type: none"> ●第3回学校名・校歌・校章作業部会の報告について ●志村小学校の跡地活用に関する報告事項 ●学校の伝統・歴史の保存について ●基本構想・基本計画に関する地域提言書（案）について
第8回	令和4年5月17日	<ul style="list-style-type: none"> ●基本構想・基本計画に関する地域提言書について ●基本構想・基本計画報告書（案）について ●基本構想・基本計画報告書（案）の説明会について

3 次回検討会の予定

令和4年9月30日の開催を予定している。

第 5 回 通学区域・通学路作業部会の報告について

1 これまでの通学区域・通学路の検討経過概要

※検討会については、通学区域・通学路に関する説明内容や検討事項についてのみ記載している。

	開催日	開催場所	説明内容や検討事項
第 1 回 作業部会	令和 3 年 5 月 26 日 (水)	志村第四中学校 ランチルーム	<ul style="list-style-type: none"> 協議会・説明会・意見募集で出された意見の確認 通学区域を検討する際の留意事項や各小・中学校の現状、志村小の移転に伴う検討課題の共有
第 2 回 作業部会	令和 3 年 6 月 16 日 (水)	志村第四中学校 ランチルーム	<ul style="list-style-type: none"> 第 1 回の振り返り 各小中学校の在籍状況等の確認 事務局案の検討
第 3 回 検討会	令和 3 年 7 月 29 日 (木)	グリーンカレッ ジホール教室 1	<ul style="list-style-type: none"> 第 1 回・第 2 回作業部会の報告 今後の小学校の通学区域の進め方の決定
第 3 回 作業部会	令和 3 年 9 月 7 日 (火)	志村第四中学校 ランチルーム	<ul style="list-style-type: none"> これまでの検討経過の振り返り 小学校の通学区域の検討 (該当校の関係者を新規委員として交え、意見交換) 中学校の通学区域の検討の進め方等について意見交換
第 4 回 検討会	令和 3 年 10 月 8 日 (火)	グリーンカレッ ジホール教室 1	<ul style="list-style-type: none"> 第 3 回作業部会の報告 小学校の通学区域変更案の決定 中学校の通学区域の進め方の決定
第 4 回 作業部会	令和 3 年 11 月 15 日 (月)	志村第四中学校 ランチルーム	<ul style="list-style-type: none"> これまでの検討経過の振り返り 中学校の通学区域の課題整理
第 5 回 検討会	令和 3 年 12 月 13 日 (月)	グリーンカレッ ジホール教室 1	<ul style="list-style-type: none"> 第 4 回通学区域・通学路作業部会の報告 中学校の通学区域の進め方の決定 (緑小関係者を新規委員として加入)
第 5 回 作業部会	令和 4 年 6 月 14 日 (火)	志村第四中学校 ランチルーム	<ul style="list-style-type: none"> これまでの検討経過の振り返り 事務局案の検討 (緑小関係者を新規委員として交え、意見交換)

2 通学区域の変更を検討する際の留意事項や視点

	留意事項・視点	備 考
1	安全性	東京都板橋区立学校の適正規模・適正配置について (答申) P 7 より
2	学校規模	
3	通学距離	
4	通学区域と町会・自治会の区域との整合に配慮すること	
5	通学区域と学びのエリアとの整合に配慮すること	<p>第 4 回検討会の検討より</p> <p>【第 3 回通学区域・通学路作業部会での検討結果を反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> 志村四中は学びのエリアの小学校が 4 校と多く、1 校当たりの教員や児童・生徒の交流の機会が他のエリアと比べて少ないのではないかと思う。 子どもたちにとって、学びのエリアと通学区域は一致している方が良いと思う。 学校の距離や学校施設の規模もあるため、板橋区内の全ての小・中学校の通学区域と学びのエリアとの整合を図ることは難しいと思う。

3 志村四中の通学区域の検討項目

	留意事項・視点	検討項目
1	安全性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幹線道路を渡って、通学する区域がある。
2	学校規模	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自校と近隣校の教育上望ましい規模（中学校：12～15 学級）を踏まえ、通学区域を検討する。
3	通学距離	<ul style="list-style-type: none"> ■ 通学距離は 1.5 km以内となっている。
4	通学区域と町会・自治会の区域との整合に配慮すること	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校の所在地は、志村坂上地区の区域内にある。 ■ 通学区域内に、志村坂上、前野、中台、蓮根地区が含まれている。
5	通学区域と学びのエリアとの整合に配慮すること	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学びのエリアの構成は、小学校 4 校となっている。 ■ 可能な限り、小・中学校の通学区域と学びのエリアとの整合を図る必要がある。

4 志村四中の通学区域の検討項目に対する各小学校の状況

太枠は、志村四中の学びのエリアの構成校

	小学校	検討項目に対する通学区域の状況	通学区域が重複する中学校
1	志村小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幹線道路を渡って通学する区域はない。 ■ 町会・自治会の区域は、志村坂上地区である。 ■ 中学校の通学区域は、志村四中のみのため、学びのエリアとの整合が図れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 志村四中
2	志村坂下小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環状八号線を渡って通学する区域がある。 ■ 町会・自治会の区域は、志村坂上地区と蓮根地区の区域がある。 ■ 中学校の通学区域が 3 つに分かれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 志村三中 ■ 志村四中 ■ 志村五中
3	緑小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 首都高速下を渡って通学する区域がある。 ■ 町会・自治会の区域は、中台地区の区域のみとなっている。 ■ 中学校の通学区域が 2 つに分かれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 志村四中 ■ 中台中
4	北前野小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 首都高速下を渡って通学する区域がある。 ■ 町会・自治会の区域は、前野地区（※）と中台地区（一部）の区域がある。 ■ 中学校の通学区域が 2 つに分かれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 志村四中 ■ 中台中
5	前野小	学びのエリアの構成校ではないが、志村四中の通学区域が含まれている。	
6	志村二小	学びのエリアの構成校ではないが、志村四中の通学区域が含まれている。 （該当区域は、見次公園のみとなっている。）	

（※）前野地区の区域内に所在している中学校はない。

5 志村四中の通学区域変更案

パターン①…志村四中の通学区域のうち、志村坂下小・緑小・前野小・志村二小の通学区域にあたる部分を変更

パターン②…志村四中の通学区域のうち、志村坂下小・前野小・志村二小の通学区域にあたる部分を変更

パターン③…志村四中の通学区域のうち、緑小・前野小・志村二小の通学区域にあたる部分を変更

※詳細は別紙のとおり

6 第5回作業部会で出た意見

① 中学校の通学区域に関する意見交換の内容

○志村四中の通学区域のうち、**志村坂下小の通学区域にあたる地域**について

- 小学校の通学区域を環状八号線で区切った経緯があるため、中学校の通学区域も同様に変更するという考え方はある。
- 幹線道路を渡る必要はあるが、距離としては志村四中に近い区域も含まれているため、そういった区域に住んでいる方が志村四中を選択できる余地は残す必要がある。
- 変更を検討するにあたっては、町会からの理解が得られるかが重要であるため、町会へ個別に状況説明等をする必要がある。

○志村四中の通学区域のうち、**緑小の通学区域にあたる地域**について

- 学びのエリアとの関係性を考慮し、このタイミングで通学区域を変更するという考え方は理解できる。
- 志村四中の通学区域変更により、緑小の単学級化が進んでしまう懸念がある。緑小では、通学区域外からの入学が約半数いることにより 12 学級となっている。近隣で新しい小中一貫校の運営が始まれば、緑小へ入学を希望する方が少なくなる可能性がある。
- 志村小の通学区域変更により、志村小の通学区域と緑小の通学区域が隣接することになるため、緑小から志村小への入学予定校変更希望が可能となる。将来的に志村四中への進学を考えると、緑小から志村小への変更希望も増える可能性が考えられる。
- 首都高速下の幹線道路を渡って通学する区域はあるが、歩道橋を使用することで、車を回避して横断することが可能である。

○志村四中の通学区域のうち、**前野小の通学区域にあたる地域、見次公園**について

- 学びのエリアとの整合を考えると、前野小の通学区域にあたる地域と見次公園の地域は変更する必要がある。

② 中学校の通学区域のまとめ

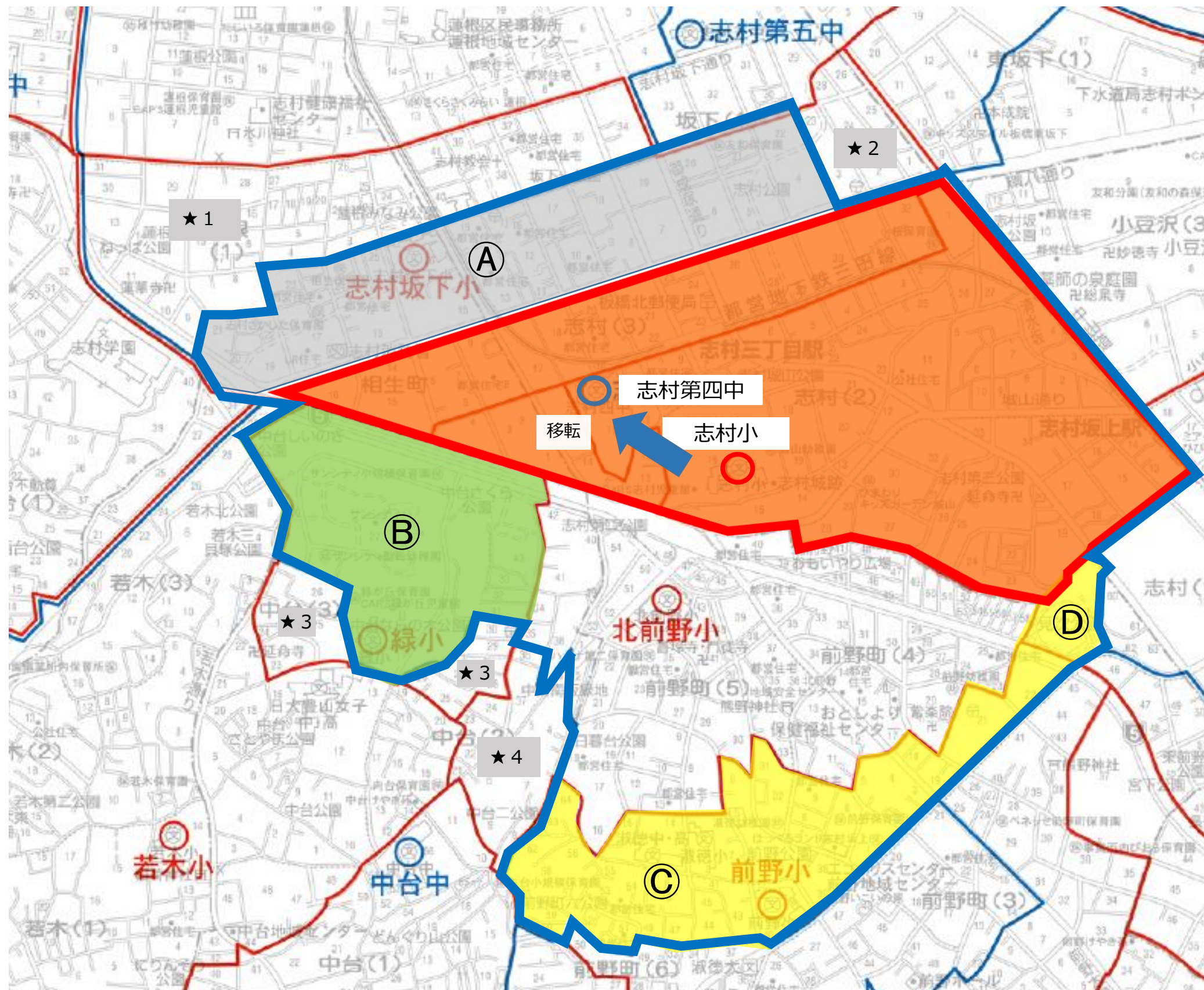
- 変更を検討する通学区域のうち、志村坂下小・緑小の通学区域にあたる地域については、変更による影響の精査や、町会への状況説明等を行う必要がある。
- 変更を検討する通学区域のうち、前野小の通学区域にあたる地域及び見次公園の地域については、通学区域を変更する方向でまとめた。

7 今後の作業部会の流れ

小学校のCSや町会等への説明を基に、志村坂下小・緑小の通学区域にあたる地域の変更について引き続き検討していく。

志村四中の通学区域について

検討会資料 2_別紙 1



※青線 = 現行の志村四中の通学区域

※赤線 = 変更後の志村小の通学区域

【志村四中の通学区域のうち、変更の検討対象とする区域】

- ㊤ = 志村坂下小の通学区域
- ㊦ = 緑小の通学区域
- ㊨ = 前野小の通学区域
- ㊩ = 志村二小の通学区域（見次公園の部分のみ）

【志村四中の通学区域外で、学びのエリア不整合となっている区域】

- ★ 1 = 志村坂下小の通学区域のうち、志村三中の通学区域
- ★ 2 = 志村坂下小の通学区域のうち、志村五中の通学区域
- ★ 3 = 緑小の通学区域のうち、中台中の通学区域
- ★ 4 = 北前野小の通学区域のうち、中台中の通学区域

志村四中の通学区域変更案

パターン①

志四中の通学区域のうち、①②③④（志村坂下小・緑小・前野小・志村二小）の部分を変更

パターン②

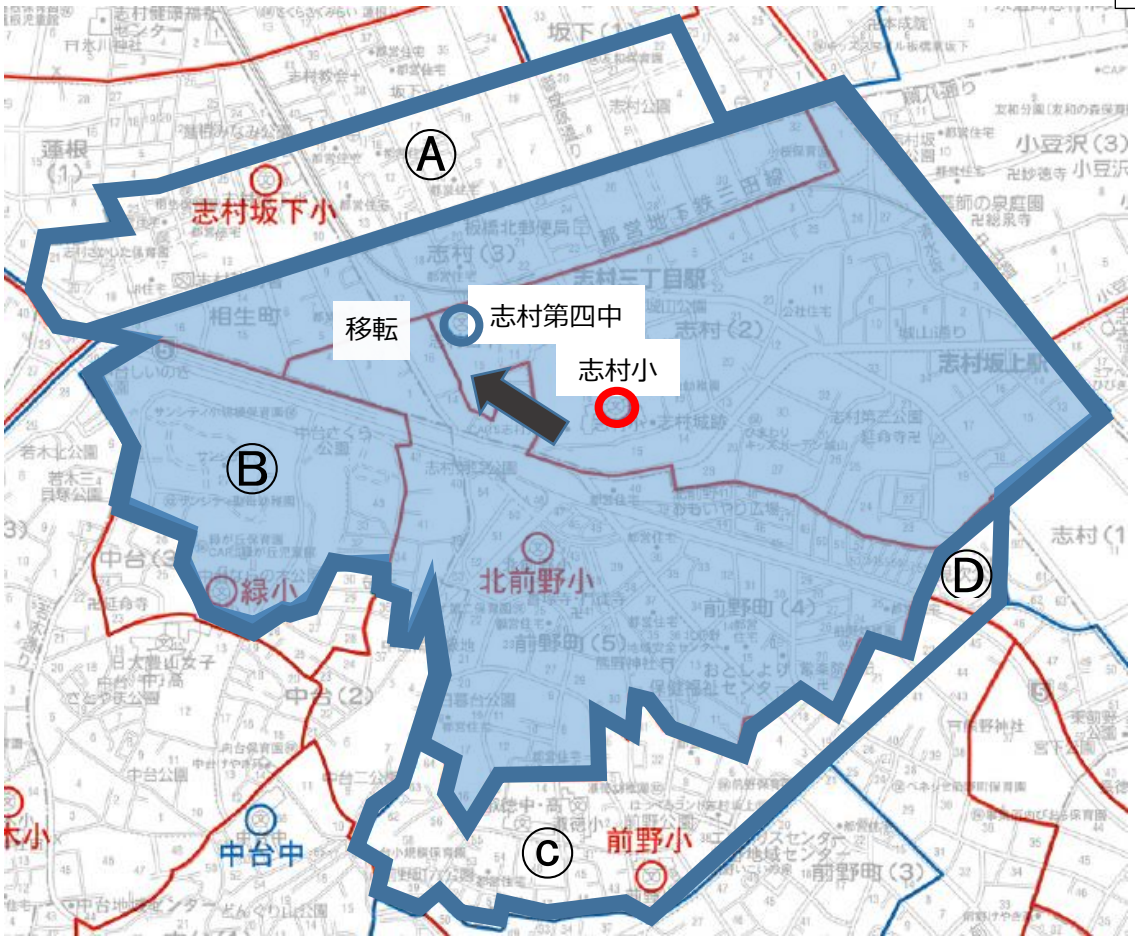
志四中の通学区域のうち、①③④（志村坂下小・前野小・志村二小）の部分を変更

パターン③

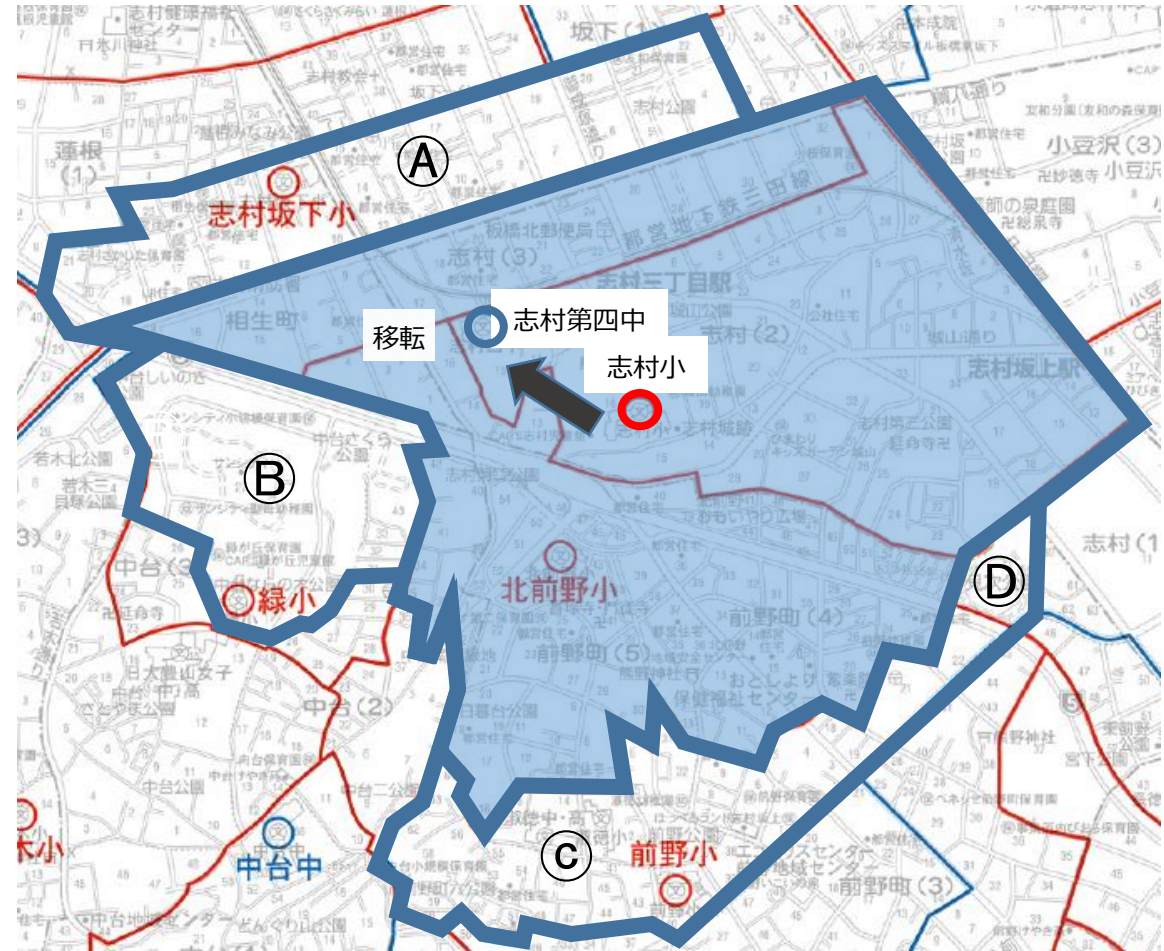
志四中の通学区域のうち、②③④（緑小・前野小・志村二小）の部分を変更

※青塗の部分 = 変更後の志村四中の通学区域

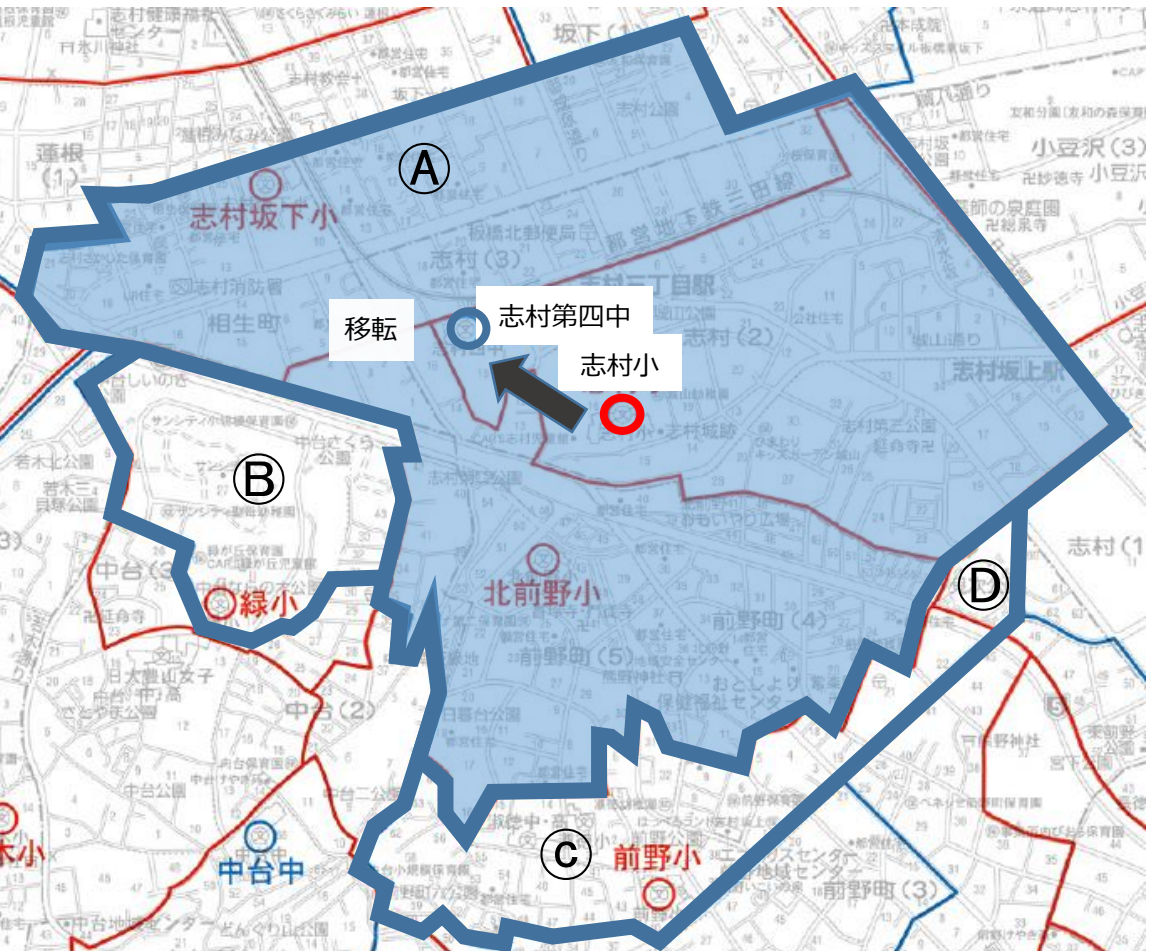
パターン②…志村坂下小・前野小・志村二小の部分を変更



パターン①…志村坂下小・緑小・前野小・志村二小の部分を変更



パターン③…緑小・前野小・志村二小の部分を変更



第 4 回 学校名・校歌・校章作業部会の報告について

1 学校名・校歌・校章等の検討経過概要

※検討会については、学校名・校歌・校章等に関する説明内容や検討事項のみ記載している。

	開催日	開催場所	説明内容や検討事項
第 1 回 作業部会	令和 3 年 11 月 8 日 (月)	志村第四中学校 ランチルーム	<ul style="list-style-type: none"> 協議会から提出された意見書の確認 現時点での学校名・校歌・校章の方向性の確認 根拠法令等の情報共有 既存の校歌・校章の取り扱いについて意見交換 小中一貫型の学校の名称・愛唱歌・マーク (※) について意見交換
第 5 回 検討会	令和 3 年 12 月 13 日 (月)	グリーンカレッジ ホール教室 1	<ul style="list-style-type: none"> 第 1 回作業部会の報告 既存の学校名・校歌・校章の取り扱いの方向性の決定 小中一貫型の学校の名称・愛唱歌・マークの制定に関する方向性の決定
第 2 回 作業部会	令和 4 年 1 月 18 日 (火)	志村第四中学校 ランチルーム	<ul style="list-style-type: none"> 検討会で決定した方向性の内容の確認 (既存の学校名・校歌・校章等) 小中一貫型の学校の名称案の作成について
第 6 回 検討会	令和 4 年 2 月 21 日 (月)	グリーンカレッジ ホール教室 1	<ul style="list-style-type: none"> 第 2 回作業部会の報告 小中一貫型の学校の名称案の作成方法の決定
第 3 回 作業部会	令和 4 年 3 月 16 日 (火)	志村第四中学校 ランチルーム	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫型の学校の名称案の作成方法の確認 「ステップ 1 要件・基本的考え方」について意見交換
第 7 回 検討会	令和 4 年 4 月 26 日 (火)	グリーンカレッジ ホール教室 1	<ul style="list-style-type: none"> 第 3 回作業部会の報告 名称案作成の要件・基本的考え方を決定
第 4 回 作業部会	令和 4 年 6 月 30 日 (木)	志村第四中学校 ランチルーム	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫型の学校の名称案の作成方法の確認 「ステップ 2 名称案の作成」について意見交換 アンケートに記載する名称案を作成 アンケートの対象範囲について意見交換

2 名称案の作成手順について

第6回検討会において決定した以下の作成手順に沿って進めていく。

段階	内容・方法
ステップ1	要件・基本的考え方の設定
	<ul style="list-style-type: none">●第7回検討会にて、以下のとおり設定<ul style="list-style-type: none">○ 必須の要件として、「志村」を使用すること。○ 1つは満たさなければならない要件としては、以下①～③とする。<ul style="list-style-type: none">① 「学園」を使用する。② 「小中一貫校」を使用する。③ 郷土愛を育む名称であること。
ステップ2	名称案の作成 <ul style="list-style-type: none">●検討会、作業部会で設定 ステップ1に沿った複数の名称案の作成を行う。
ステップ3	名称案の絞り込み
	<ul style="list-style-type: none">●アンケートの実施 ステップ2で作成した複数の名称案を基に、検討会以外への意見聴取を行う。 ※選択肢からの選択だけでなく、選択肢以外の新案を記載できる自由記述欄の設定も行う。●検討会・作業部会での絞り込み アンケートの結果を踏まえ、候補の絞り込み、検討会としての名称案の決定を行う。
ステップ4	名称の決定 <ul style="list-style-type: none">●教育委員会で決定 検討会からの名称案を踏まえ、最終的な名称の決定を行う。

3 「ステップ2 名称案の作成」について

ステップ1で設定した要件・基本的考え方に沿って、作業部会委員が作成した名称案（計13個）の中から、ステップ3で実施するアンケートに掲載する名称案を選出した。

※作業部会で作成した全名称案の詳細は別紙のとおり

①名称案の作成についての意見

- 板橋区として「郷土愛を育む教育」を重視していることを考えると、志村城があった地域であることを象徴する名称をアンケートに掲載することが適していると思う。
- 作業部会から計13個の名称案が提出されたが、似通ったものが複数あるため、ある程度集約した上で検討会に諮った方が良いと思う。
- 「城山」「城址」等が入った名称案が多いため、アンケートの選択肢を広げる意味で、ひらがな・カタカナを使った名称案や、志村城以外の由来を持つ名称案もあった方が良いと思う。
- 実際の活用を考慮すると、長すぎる名称や呼びにくい名称は避けた方が良いと思う。

②作業部会のまとめ

ステップ3で実施するアンケートに掲載する名称案として選出した以下6個の名称案について、検討会に諮る方向でまとめた。

- 志村みらい学園
- 志村クローバー学園
- 志村城山学園
- 志村城山小中一貫校
- 志村城址学園
- 志村中央学園

4 作成段階ステップ3について

（1）アンケートの内容について

- ① 対象区分の選択（生徒・保護者・CS委員 等）
- ② 小中一貫型の学校の名称案の中から、1つ選択又は要件等に沿った自由意見の提案
- ③ ②を選択又は提案した理由

(2) アンケートの対象範囲について

区分	方法
志村小・志村四中 児童・生徒・保護者	グーグルフォーム
志村小・志村四中 教職員	グーグルフォーム
志村小・志村四中 CS 委員	紙ベース (1人1枚)
学びのエリア(志村坂下・北前野・緑) 児童・生徒・保護者	グーグルフォーム
学びのエリア(志村坂下・北前野・緑) 教職員	グーグルフォーム
学びのエリア(志村坂下・北前野・緑) CS 委員	紙ベース (1人1枚)
志村四中通学区域内 町会役員	検討中

(3) 意見交換の内容

アンケートに関する意見

- 志村小・志村四中関係者だけでなく、学びのエリアの関係者に対してもアンケートの対象とした方が良いと思う
- 通学区域内の町会に対してもアンケートを行うべきだと思う。
- 町会へのアンケート方法については、役員の中で希望する人がアンケートに回答できるような設定とする方が良いと思う。
- アンケートの多寡によって名称を決定するわけではないことを周知徹底するべきだと思う。

5 今後の作業部会の流れ

検討会で承認された名称案を基に、「ステップ3 名称案の絞り込み」に向け、アンケートの内容及び実施方法について検討していく。

志村小・志村四中 小中一貫型学校の名称案一覧

検討会資料3_別紙

【アンケートに掲載する名称案】

NO	名称案	名称案とした理由
1	志村みらい学園	未来を担う子供たちを象徴する名称とするため。また、漢字のみを使用する名称案が多いため、選択肢を増やす目的でひらがなとした。
2	志村クローバー学園	志村四中の土地はもともと牧場であり、クローバーが沢山あったから。また、志村四中の校章にも、同様の理由で四葉のクローバーが使われている。
3	志村城山学園	「城山通り」「城山公園」など、志村城があった地域を象徴するものとして「城山」という呼称が多く使われていることから、その地域に建つ学校の名称に「城山」を入れることで、地域から親しまれ、子どもたちの郷土愛を育むきっかけとなると考えたため。
4	志村城山小中一貫校	上記の案と同様の思いで「城山」を使用したほか、他の全ての案は末尾を「学園」としていることから、選択肢の幅を広げるため「小中一貫校」とした。
5	志村城址学園	志村四中の土地は正確には城址ではないが、志村城が地域全体のシンボルとなっていること を 踏まえ、「城址」を入れた名称とした。
6	志村中央学園	志村地域の地名は、志村城を中心として名づけられた経緯がある（志村城の西側が「西台」、志村城と西台の間が「中台」など）ことから、志村地域の中心部であるという背景を踏まえた名称とした。

【その他、作業部会で出た名称案（アンケートに掲載しないもの）】

NO	名称案	名称案とした理由	アンケートに掲載しない理由
1	志村城山城址学園	城山という土地の名前を入れたかったのと、古くはお城があったという事実を入れ込めればと考えたため。	学校運営にあたり、学校名は呼びやすく覚えやすいものであることが重要となることから、長すぎる名称や、「城」が複数入る名称は適さないと判断したため。
2	志村城山城址の杜学園	「城山」という名称や志村城があった地域であることを明示し、更に近隣に神社があることを踏まえて「杜」を入れることで、より地域から愛着を持ってもらえると考えたため。	
3	志村しろやまのもり 小中一貫校	「城山」という名称や「杜」を入れることで、より地域から愛着を持ってもらえると考えたため。また、ひらがな表記とすることで、未就学児及びその保護者へのアピールになると考えたため。	
4	小中一貫校 志村城山学園	志村城があった地域を象徴するものとして「城山」を入れ、小中一貫型学校であることを強調する名称にしたいと考えたため。	
5	志村コミュニティ学園	小学校、中学校、特別支援学級、地域がつながることを意識した名称とした。	「志村コミュニティホール」等の区内既存施設の名称と混同する恐れがあるため。
6	小中一貫校志村学園	志村地域にある小中一貫型学校であることを強調する名称にしたいと考えたため。	「東京都立志村学園」と混同する恐れがあるため。
7	志村城学園	正確には城址ではないが、過去の地域シンボルであったため。	志村城があった地域であることを象徴する名称として、「城山」や「城址」を使用したもののの方が適していると判断したため。

志村小学校・志村第四中学校 小中一貫型学校改築計画 基本構想・基本計画 報告書 【概要版】

1 本報告書について

「いたばし魅力ある学校づくりプラン」前期計画第2期対象校である志村小学校については、現在地での改築が困難であることから、小中一貫教育推進の視点を取り入れ、志村小学校と志村第四中学校を施設一体の小中一貫型の学校として、志村四中学校の敷地に整備を進めていくこととなった。

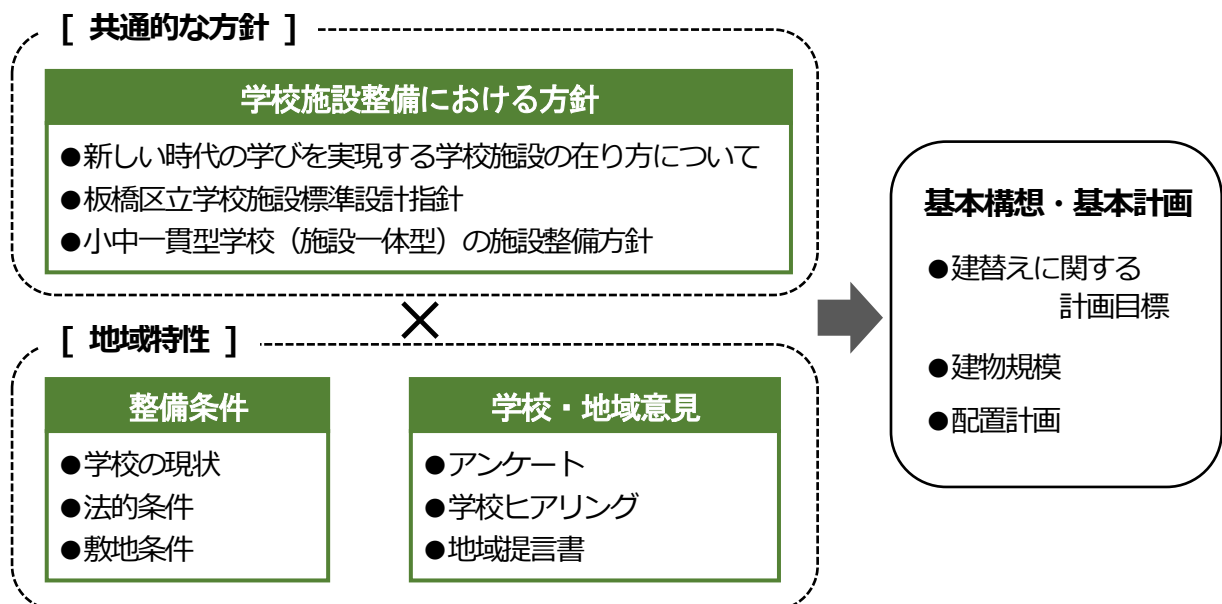
これを受け、令和4年2月には、小中一貫型学校（施設一体型）の施設整備を検討する際に、学校施設整備の基本的な考え方を示した小中一貫型学校（施設一体型）の施設整備方針を策定している。

このような状況の中で、志村小・志四中一貫型学校の施設整備における基本構想・基本計画報告書の策定に向けて、地域特性の把握を目的とした児童・生徒、教職員へのヒアリングやワークショップ、アンケートを実施してきた。

この度、設計、工事を進めていく上での基本的な考えや指針を示した基本構想・基本計画報告書をまとめたので報告する。

2 本報告書にて示す方針

本報告書で示す方針は、学校施設を整備する上での共通的な方針となる「学校施設整備における方針」と、地域特性となる各学校個別の「整備条件」や「地域意見」から検討されており、「建替えに関する計画目標」、「建物規模」、「配置計画」の3点について示している。



3 計画の背景・条件

(1) 周辺環境

敷地所在地は東京都板橋区志村 3 丁目 3 番 1 号他 1 2 筆。敷地面積は 12,713.04 m²。都営三田線志村三丁目駅の南側に位置する。敷地北側を東京都道 311 号環状八号線、南側は首都高速 5 号池袋線、東側は出井川緑道のある立地となっている。

都市計画事項

- ① 用途地域：第一種住居地域
- ② 建蔽率：60%
- ③ 容積率：200%
- ④ 防火地域の指定：準防火地域
- ⑤ 高度地区：第二種高度地区、最高限度 30m
- ⑥ 日影規制：4h,2.5h/4m

周辺道路の状況

北側：公道 認定幅員 6m
(建築基準法 42 条 1 項 1 号道路)

西側：公道 認定幅員 6m
(建築基準法 42 条 1 項 1 号道路)

東側：出井川緑道

水害への対応について

荒川氾濫時の洪水ハザードマップでは、想定浸水深さ 3~5m ⇒ 屋内運動場、防災備蓄倉庫防災設備機器の設置階は十分な検討が必要



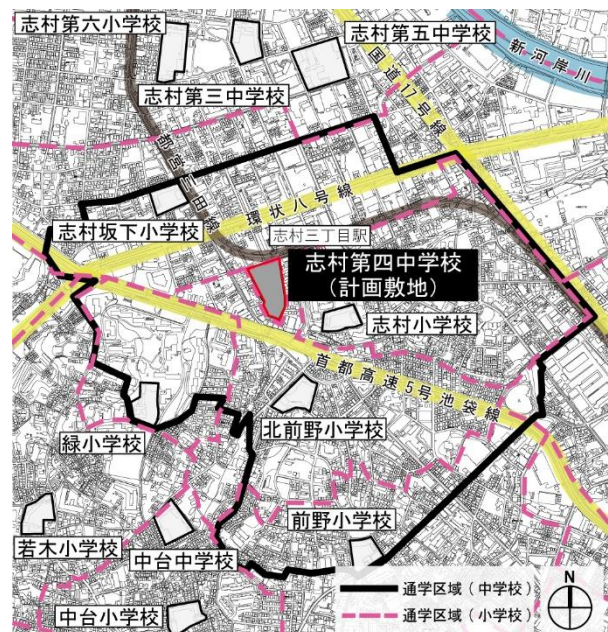
(2) 通学区域

志村小・志村第四中学校の通学区域は板橋区の中央に位置する。

現在の志村第四中学校の通学区域内には、環状八号線、首都高速 5 号池袋線、都営地下鉄三田線をはじめとする大きな交通網が通っており、志村小の通学区域の全てが含まれる。

中学校通学区域内に通学区域がある小学校

- ・ 志村小学校
- ・ 志村坂下小学校
- ・ 緑小学校
- ・ 北前野小学校
- ・ 前野小



4 建替えに関する計画目標

学校施設整備における方針と地域特性を踏まえ、基本方針となる計画目標を定めた。概要版では、施設全体、分野別、地域連携・協働の視点にて本編より一部抜粋したものを以下に示す。今後は、この計画目標に基づき、設計・工事を進めていく。

●・・・学校施設共通計画目標

○・・・学校・地域特性を踏まえた計画目標

施設全体方針		
居場所	学習環境	安全対策
<ul style="list-style-type: none"> ●全ての利用者にとって多種多様な居場所を計画 ●開放的な空間を持つ施設 ●児童・生徒が交流できる場 ●心の健康相談に対応できる空間 ●教職員が気分転換できる場 	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な学習形態に対応できる計画 ●家庭ではできない取組にて価値観を学べる計画 ●教科ごとに特色のある教育環境を整備 ●ICTを活かした教科授業への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童・生徒の発達段階やユニバーサルデザインに配慮した施設整備 ●日常生活や避難などの緊急時の一斉活動を踏まえた整備 ○工事期間中の教育環境、近隣の生活環境への配慮
環境配慮	発表・集会・交流スペース	不登校・いじめ対策
<ul style="list-style-type: none"> ●エコスクール化・ZEB化 ●自然エネルギーの効果的利用 ●「脱炭素社会」の実現に寄与 	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者、地域関係者との交流 ●「学びのエリア」内の小学校との交流スペース ●小中の交流を育める場所 	<ul style="list-style-type: none"> ●自宅と教室の緩衝地帯 ●生徒がリラックスできる環境整備 ●死角を作らない空間づくり

分野別方針		
普通教室・ホームベース	学校図書館・メディアセンター等	管理諸室
<ul style="list-style-type: none"> ●普通教室 約 72 m² ●教科の魅力を活かす空間 ●個別学習、協働学習への対応 ●教育活動の変更への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ●グループ学習対応 ●フレキシブルな空間 ●異学年交流できる多様な居場所 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちに対応しやすい環境 ●コミュニケーションの場となるラウンジ空間 ○1か所の職員室で小・中の連携
運動施設	トイレ	防災・防犯
<ul style="list-style-type: none"> ○屋内外の運動施設はそれぞれ複数か所整備し、小・中の同時利用 ○プールは小・中の共用を1か所 ○体格差が大きいため安全面に配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ●自然採光、自然通風 ●ユニバーサルデザインやジェンダーレスにも配慮した全体計画 ●個別機能の分散化 	<ul style="list-style-type: none"> ●車椅子利用者等の避難、物資搬入を考慮した計画 ●ハザードマップを考慮した機能配置
特別支援教育関係室	あいキッズ	文化・歴史の保存
<ul style="list-style-type: none"> ●落ち着いて学びに集中できる配置 ●個別指導・協働活動できるスペースの設置 ○同じフロア又は連携できる室配置 	<ul style="list-style-type: none"> ○遊び場など活動場所の安全面への配慮 ○学校とのセキュリティへの配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ●使用者・利用者の動線に配慮し歴史・展示スペースを設置 ○記念樹や像の移植や移設

地域連携・協働	
交流	連携・開放
<ul style="list-style-type: none"> ●学校と地域合同の防災活動を促進 ●地域、子ども、教員のコミュニティスペース ●地域住民の学習支援の場 ●地域文化の継承 	<ul style="list-style-type: none"> ●休日利用も踏まえた地域開放 ●図書室・和室・多目的室・家庭科室の地域連携・協働 ○地域連携室・PTA室・ミーティング室・トイレ・武道場・アリーナ・グラウンド・音楽室の地域開放 ●地域連携ゾーンの配置、動線に配慮

5 建物規模

以下の条件より、建物規模を検討し、計画目標床面積を設定した。今後、この計画目標床面積を目安とし、兼用や転用使いの視点、授業展開の実情などを踏まえ、設計を進めていく。

〔 検討条件 〕

- 小学校18、中学校15の適正規模の学級数
- 中学校は、教科教室型運営方式
- 教科教室の利用率は80%以下
(80%を超えるとカリキュラムを組むことが困難)
- 普通教室は、72㎡ ※既存教室は64㎡程度
(様々な学習形態への対応)



計画目標床面積
約18,000㎡

6 配置計画

3つの配置案に対し、配置検討の際、重要となる項目より比較検討（表1）し、建物配置を含む配置計画（図1）を決定した。

〔 建物配置の考え方 〕

- 校庭確保
- 計画目標床面積
- 関係法令に適合した形状



〔 3つの配置案 〕

- 校舎北側配置案
- 校舎南側配置案
- 校舎中央配置案



校舎中央
配置案



配置検討の際、重要となる項目より比較

〔 比較要件 〕

- 動線計画
- 学校環境
- 周辺環境

7 工事期間中の学校運営

（1）校舎工事期間中の学校運営

- 志四中 ⇒ 校舎内での活動は通常通り ※校舎外の屋外活動は制限される。
- 志村小 ⇒ 敷地内での活動は通常通り

（2）志四中敷地での注意事項

工事と学校運営が同時に行われる志四中敷地での工事期間中の注意事項とその対応について以下に示す。今後、対応についての検討を進めていく。

- 音や振動 ⇒ 低振動・低騒音型の重機
- 工事車両 ⇒ ガードマン配置、通行時間帯の制限
- 屋外活動 ⇒ 近隣校との合同実施などの検討

表1. 配置計画比較検討表





校舎配置イメージ		校舎中央配置案	校舎南側配置案	校舎北側配置案
方位： 				
規模・条件	校庭面積（旧井川緑道部分含む）	校庭：約 5700 m ² （150mトラック） 広場：約 1700 m ²	校庭：約 6600 m ² （150mトラック）	校庭：約 6600 m ² （150mトラック）
	階数	校舎 / 体育館 7階建（プールは屋上想定）	校舎 / 体育館 6階建（プールは屋上想定）	校舎 / 体育館 6階建（プールは屋上想定）
	面積（小 18 / 中 15）※中学校は教科教室型	約 17,900 m ²	約 17,600 m ²	約 17,600 m ²
	仮設校舎	無	無	有（約 5000 m ² ）
動線計画	人の動線（児童生徒 / 職員 / 地域）	○ <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒は西側道路 / 東側緑道からアクセス 地域の方は西側道路からアクセス 	○ <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒は西側道路 / 東側緑道からアクセス 地域の方は西側道路からアクセス 	○ <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒は西側道路 / 東側緑道からアクセス 地域の方がメイン道路である北側から距離が短いのでアクセスしやすい
	車両動線（給食搬入 / 地域開放）	○ <ul style="list-style-type: none"> 車両は敷地西側道路からのアクセスに限定される 校庭へ北側道路からのアクセスが可能 	○ <ul style="list-style-type: none"> 車両は敷地西側道路からのアクセスに限定される 校庭へ北側道路からのアクセスが可能 	○ <ul style="list-style-type: none"> 校舎体育館へ北側道路からアクセスが可能 校庭は西側道路からのアクセスが可能
学校環境	普通教室の日当たり	○ <ul style="list-style-type: none"> 首都高速との距離があるので、南側に遮るものがなく良好 東側 / 西側教室への採光の工夫が必要 	○ <ul style="list-style-type: none"> 首都高速との距離があるので、南側に遮るものがなく良好 東側 / 西側教室への採光の工夫が必要 	◎ <ul style="list-style-type: none"> 首都高速との距離があるので、南側に遮るものがなく良好 南面する教室が多い 西側教室への採光の工夫が必要
	普通教室からの眺望 普通教室の環境	○ <ul style="list-style-type: none"> 校舎から広場や緑道の眺望が良い 	△ <ul style="list-style-type: none"> 校舎から緑道の眺望が良い 首都高速からの騒音対策が必要 	△ <ul style="list-style-type: none"> 校舎から校庭の眺望が良い 都営三田線からの騒音対策が必要
	校庭（広場）の形、使いやすさ	◎ <ul style="list-style-type: none"> 校庭と広場を確保 校庭+広場面積が他案よりも大きい 	○ <ul style="list-style-type: none"> まとまった校庭面積を確保（小中一体であるが、範囲を区画する必要がある） 	○ <ul style="list-style-type: none"> まとまった校庭面積を確保（小中一体であるが、範囲を区画する必要がある）
	校庭（広場）の環境	○ <ul style="list-style-type: none"> 校庭が一部、校舎の影になってしまう 広場は日当たりが良い 北側道路及び緑道からの視線対策が必要 	△ <ul style="list-style-type: none"> 校庭が一部、校舎の影になってしまう 北側道路からの視線対策が必要 	○ <ul style="list-style-type: none"> 校庭の日当たりが良い 緑道からの視線対策が必要
近隣への影響	近隣への影響（景観）	○ <ul style="list-style-type: none"> 建物がないため、地域（北側道路）から開けた景色となる 他案よりも建物高さが高くなる 	◎ <ul style="list-style-type: none"> 建物がないため、地域（北側道路）から開けた景色となる 	◎ <ul style="list-style-type: none"> 地域（北側道路）に新しい校舎の顔を見せることができる
	近隣への影響（日影 / 視線）	◎ <ul style="list-style-type: none"> 近隣に日影の影響を与える範囲が少ない 西向きの教室が比較的少ない 	○ <ul style="list-style-type: none"> 近隣に日影の影響を与える範囲が少ない 教室からの西側住宅への配慮が必要 	△ <ul style="list-style-type: none"> 北側住宅に校舎の影が落ちてしまう 教室からの西側住宅への配慮が必要
	近隣への影響（音 / 騒音）	○ <ul style="list-style-type: none"> 夜間の体育館利用時に、体育館と近隣の距離を現状と同程度確保しているため、音 / 振動が問題になりにくい 	○ <ul style="list-style-type: none"> 夜間の体育館利用時に、体育館と近隣の距離を現状と同程度確保しているため、音 / 振動が問題になりにくい 	○ <ul style="list-style-type: none"> 夜間の体育館利用時に、体育館と近隣の距離を現状と同程度確保しているため、音 / 振動が問題になりにくい
まとめ		<ul style="list-style-type: none"> 動線計画 / 学校環境 / 近隣への影響を考慮すると最適と思われる 校庭と広場が確保でき、仮設校舎の利用期間がないことが大きなメリットとなる 	<ul style="list-style-type: none"> 仮設校舎利用期間がなく、工事による学習環境の変化が少ない 普通教室や校庭など学習環境に対する課題が散見される 	<ul style="list-style-type: none"> 既存校舎と大きく変わらない構成である 仮設校舎利用期間が発生し、工事による学校 / 児童生徒への負担が大きい 教室環境や近隣への影響など課題が散見される



図1. 配置計画図

令和4年7月

板橋区教育委員会事務局

志村小学校・志村第四中学校の 一貫型学校改築だより（第3号）

基本構想・基本計画を策定しました。

設置検討会における「ワークショップ」は第1回（令和4年1月24日）、第2回（令和4年2月15日）、第3回（令和4年3月7日）の3回にわたり開催しました。※1

ワークショップで出た意見を集約した、「地域提言書」及び児童・生徒ワークショップや教職員ヒアリングを踏まえ、「基本構想・基本計画（案）」を作成し、保護者や地域の方に向けて説明会を行いました。

「志村小学校・志村第四中学校の一貫型学校改築だより（第3号）」では、「志村小学校・志村第四中学校 小中一貫型学校改築計画 基本構想・基本計画報告書」作成までの活動経過をお伝えします。

「第7回設置検討会」基本構想・基本計画への提言となる「地域提言書」を作成

令和4年4月26日の第7回設置検討会では、全3回のワークショップ※1での意見を集約し、地域と学校の関わり方や、建物の配置など改築に関わる様々な意見・アイデアについて「地域提言書」として内容をまとめました。

「第8回設置検討会」基本構想・基本計画報告書（案）の報告・確認

令和4年5月17日の第8回設置検討会では、教育委員会事務局が「地域提言書」を踏まえて作成した「基本構想・基本計画報告書（案）」を報告しました。

「地域提言書」が「基本構想・基本計画報告書（案）」にどのように反映されているか、や内容の説明を行いました。



■第8回設置検討会では基本構想・基本計画報告書（案）を報告しました。

「改築計画説明会」

「志村小学校・志村第四中学校 小中一貫型学校改築計画 基本構想・基本計画報告書（案）」について、保護者や地域の方に向けた説明会を実施しました。

<実施日程>

- ・令和4年6月 3日 北前野小学校
- ・令和4年6月 4日 緑小学校
- ・令和4年6月 8日 志村坂下小学校
- ・令和4年6月13日 志村小学校
- ・令和4年6月15日 志村第四中学校
- ・令和4年6月18日 グリーンカレッジホール



■基本構想・基本計画報告書（案）の説明会を行いました。

会場で出た意見については、後日回答を付け板橋区ホームページにて公開します。

※1・・・全3回のワークショップ様子は、「志村小学校・志村第四中学校の一貫型学校改築だより（第1号）（第2号）」でお伝えしています。

板橋区ホームページ【トップページ＞板橋区教育委員会＞学校施設に関する情報＞校舎の改修・改築＞改築・大規模改修など実施情報＞志村小学校・志村第四中学校の小中一貫校型学校の改築について】に掲載中です。

(<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyoikuiinkai/joho/kaisyu/1038158/1037615.html>)

「志村小学校・志村第四中学校 小中一貫型学校改築計画 基本構想・基本計画報告書」を一部紹介します。

本紙では、報告書の基本となる「方針」「配置計画」の考え方を紹介します。

方針

報告書で示す方針は、学校施設を整備する上での共通的な方針となる「学校施設整備における方針」と、地域特性となる各学校個別の「整備条件」や「地域意見」から検討されており、「建替えに関する計画目標」、「建物規模」、「配置計画」の3点について示しています。

【 共通的な方針 】

学校施設整備における方針

- 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について
- 板橋区立学校施設標準設計指針
- 小中一貫型学校（施設一体型）の施設整備方針

【 地域特性 】

整備条件

- 学校の現状
- 法的条件
- 敷地条件

学校・地域意見

- アンケート
- 学校ヒアリング
- 地域提言書

新しい志村小学校・志村第四中学校 小中一貫型学校の建物計画の目標は？
どういうところに配慮しているのか？

※緑色塗部は建物配置予定エリアを示すものであり、建物形状を示すものではありません。

「志村小学校・志村第四中学校 小中一貫型学校改築計画 基本構想・基本計画報告書」の詳細は板橋区ホームページにてお伝えしています。

板橋区ホームページ【 トップページ > 板橋区教育委員会 > 学校施設に関する情報 > 校舎の改修・改築 > 改築・大規模改修など実施情報 > 志村小学校・志村第四中学校の小中一貫校型学校の改築について 】に掲載中です。

(<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyoikuiinkai/joho/kaisyu/1038158/1037615.html>)



配置計画

北側に校庭、南側に広場を確保し、敷地中央に新校舎を配置します。



今後のスケジュールについて（予定）

- ・令和4年7月 基本構想・基本計画策定
- ・令和4年9月頃 基本設計・実施設計 事業者選定
- ・令和6年度～ 改築工事開始

今後の改築だよりについて

今後も基本設計・実施設計のなかで、設計案を報告し、ご意見等を踏まえて検討していく予定です。

「改築だより」では引き続き、改築計画の進捗をご報告していきます。

問い合わせ先

- ・板橋区教育委員会事務局
新しい学校づくり課 学校整備係
- ・電話： 03（3579）2632
- ・メール：

ky-gkeisui@city.itabashi.tokyo.jp